

米国国債ファンド

為替ヘッジあり(年1回決算型)
為替ヘッジなし(年1回決算型)
フレックスヘッジ(年1回決算型)

運用報告書(全体版) 第8期

(決算日 2021年3月26日)

(作成対象期間 2020年3月27日～2021年3月26日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	約14年9カ月間(2013年6月27日～2028年3月24日)		
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	米国国債マザーファンドの受益証券	
	米国国債マザーファンド	米国国債	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、残存期間の異なる米国国債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3170>
<3171>
<3172>

為替ヘッジあり (年1回決算型)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE米国債インデックス (米ドルベース)		公社債 組比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中騰 落率	(参考指数)	期中騰 落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
4期末(2017年3月27日)	10,147	0	△ 3.5	10,719	△ 0.8	94.3	—	3,307
5期末(2018年3月26日)	9,886	0	△ 2.6	10,714	△ 0.0	97.0	—	4,688
6期末(2019年3月26日)	10,051	0	1.7	11,206	4.6	96.4	—	4,133
7期末(2020年3月26日)	11,011	0	9.6	12,570	12.2	101.2	—	4,547
8期末(2021年3月26日)	10,495	0	△ 4.7	12,202	△ 2.9	97.9	—	3,993

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE米国債インデックス(米ドルベース)は、FTSE米国債インデックス(米ドルベース)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE米国債インデックス(米ドルベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

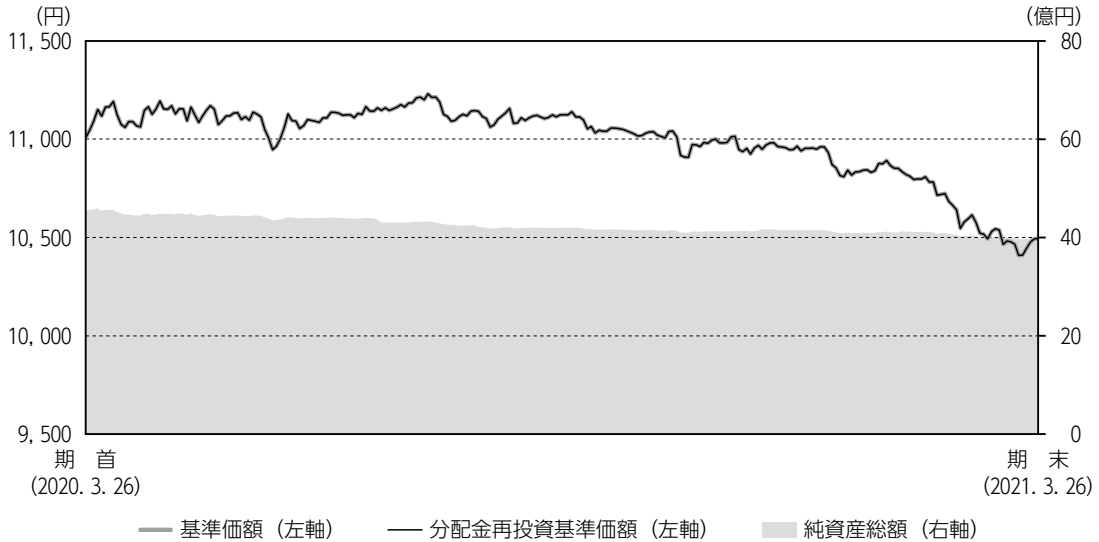
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：11,011円

期末：10,495円（分配金0円）

騰落率：△4.7%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

米国国債に投資した結果、金利が上昇（債券価格は下落）したことなどから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

米国国債ファンド 為替ヘッジあり (年1回決算型)

年 月 日	基 準 価 額		F T S E 米 国 債 イ ン デ ッ ク ス (米ドルベース)		公 社 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2020年3月26日	11,011	—	12,570	—	101.2	—
3月末	11,151	1.3	12,717	1.2	99.5	—
4月末	11,156	1.3	12,782	1.7	97.2	—
5月末	11,097	0.8	12,695	1.0	98.1	—
6月末	11,137	1.1	12,769	1.6	98.1	—
7月末	11,210	1.8	12,897	2.6	95.3	—
8月末	11,074	0.6	12,724	1.2	96.8	—
9月末	11,140	1.2	12,807	1.9	96.4	—
10月末	11,021	0.1	12,668	0.8	96.5	—
11月末	11,012	0.0	12,698	1.0	96.2	—
12月末	10,950	△ 0.6	12,653	0.7	97.1	—
2021年1月末	10,866	△ 1.3	12,564	△ 0.1	97.8	—
2月末	10,547	△ 4.2	12,215	△ 2.8	98.9	—
(期末) 2021年3月26日	10,495	△ 4.7	12,202	△ 2.9	97.9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020. 3. 27 ~ 2021. 3. 26)

■米国債券市況

米国の金利は上昇しました。

米国債券市況は、当作成期首より、新型コロナウイルスの感染拡大による信用不安の広がりから現金化ニーズが高まったことで、金利は上昇しました。しかしその後は、F R B (米国連邦準備制度理事会)をはじめとして、世界的に金融緩和策が強化されたことで、金利は低下(債券価格は上昇)しました。2020年8月は、感染拡大懸念が後退したほか、良好な経済指標や国債の発行増加の影響もあって、金利は上昇しました。10月には、米国大統領および連邦議会選挙を控えて、バイデン候補が大統領に当選して民主党が上下両院を制した場合の拡張的な財政政策を懸念する動きから、金利はさらに上昇しました。2021年に入ると、ジョージア州での上院決選投票で民主党が2議席を確保し、大統領府および連邦議会上下両院すべてを民主党が制することとなりました。それを受けて、市場での追加経済対策への期待が高まり、金利は上昇しました。また、F R B高官から量的緩和の縮小時期に関する発言が出たことも、今後の金融緩和政策の後退が市場で意識され、金利の上昇要因となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れます。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

ポートフォリオについて

(2020. 3. 27 ~ 2021. 3. 26)

当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れました。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

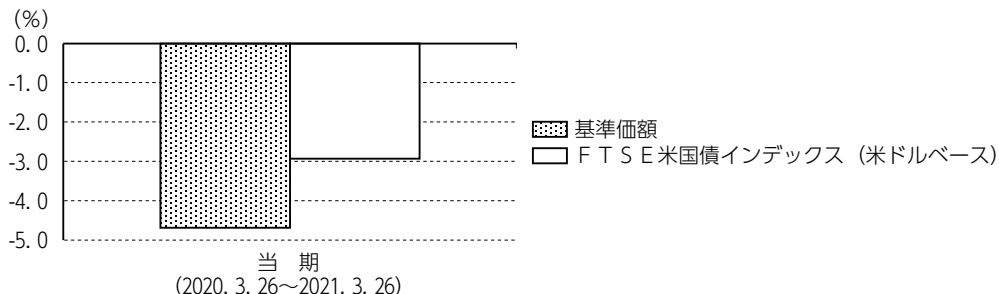
米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当期	
	2020年3月27日 ～2021年3月26日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,020

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

「米回国債マザーファンド」を高位に組み入れます。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

米回国債マザーファンド

米回国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米回国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 3. 27~2021. 3. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	41円	0.374%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,993円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0.165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(18)	(0.165)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.020	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	43	0.394	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

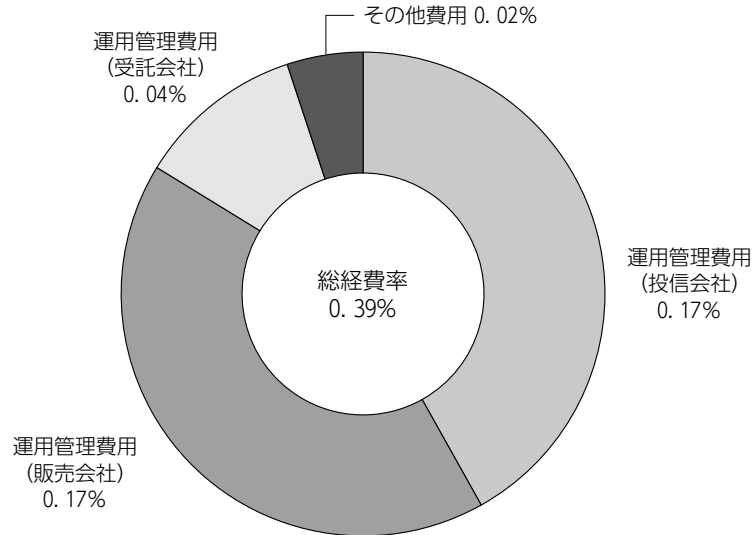
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.39%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

米国公債ファンド 為替ヘッジあり (年1回決算型)

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年3月27日から2021年3月26日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
米国公債 マザーファンド	164,474	229,900	523,744	747,400

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	評 価 額	□ 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
米国公債マザーファンド	3,189,109	2,829,839	3,961,208	3,961,208

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年3月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
米国公債マザーファンド	3,961,208	98.8
コール・ローン等、その他	48,837	1.2
投資信託財産総額	4,010,046	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.31円です。

(注3) 米国公債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(11,906,699千円)の投資信託財産総額(11,964,576千円)に対する比率は、99.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年3月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,933,034,518円
コール・ローン等	48,640,141
米国公債マザーファンド(評価額)	3,961,208,966
未収入金	3,923,185,411
(B) 負債	3,939,044,699
未払金	3,931,045,701
未払解約金	289,327
未払信託報酬	7,541,503
その他未払費用	168,168
(C) 純資産総額(A-B)	3,993,989,819
元本	3,805,569,840
次期繰越損益金	188,419,979
(D) 受益権総口数	3,805,569,840口
1万口当り基準価額(C/D)	10,495円

*期首における元本額は4,129,872,993円、当作成期間中における追加設定元本額は217,618,349円、同解約元本額は541,921,502円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,495円です。

■損益の状況

当期 自2020年3月27日 至2021年3月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 17,136円
受取利息	961
支払利息	△ 18,097
(B) 有価証券売買損益	△ 179,332,527
売買益	323,975,939
売買損	△ 503,308,466
(C) 信託報酬等	△ 16,225,613
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 195,575,276
(E) 前期繰越損益金	292,925,890
(F) 追加信託差損益金	91,069,365
(配当等相当額)	(95,314,535)
(売買損益相当額)	(△ 4,245,170)
(G) 合計(D+E+F)	188,419,979
次期繰越損益金(G)	188,419,979
追加信託差損益金	91,069,365
(配当等相当額)	(95,314,535)
(売買損益相当額)	(△ 4,245,170)
分配準備積立金	292,953,506
繰越損益金	△ 195,602,892

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	95,314,535
(d) 分配準備積立金	292,953,506
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	388,268,041
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	388,268,041
(h) 受益権総口数	3,805,569,840口

為替ヘッジなし (年1回決算型)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE米国債インデックス (円換算)		公社債 組入率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配 金	期中 騰落 率	(参考指数)	期中 騰落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
4期末(2017年3月27日)	11,927	0	△ 4.1	12,124	△ 3.4	97.9	—	1,785
5期末(2018年3月26日)	11,223	0	△ 5.9	11,522	△ 5.0	98.6	—	2,078
6期末(2019年3月26日)	12,306	0	9.6	12,648	9.8	97.2	—	2,299
7期末(2020年3月26日)	13,930	0	13.2	14,261	12.7	96.8	—	2,267
8期末(2021年3月26日)	13,224	0	△ 5.1	13,660	△ 4.2	98.4	—	1,985

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE米国債インデックス(円換算)は、FTSE米国債インデックス(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE米国債インデックス(米ドルベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

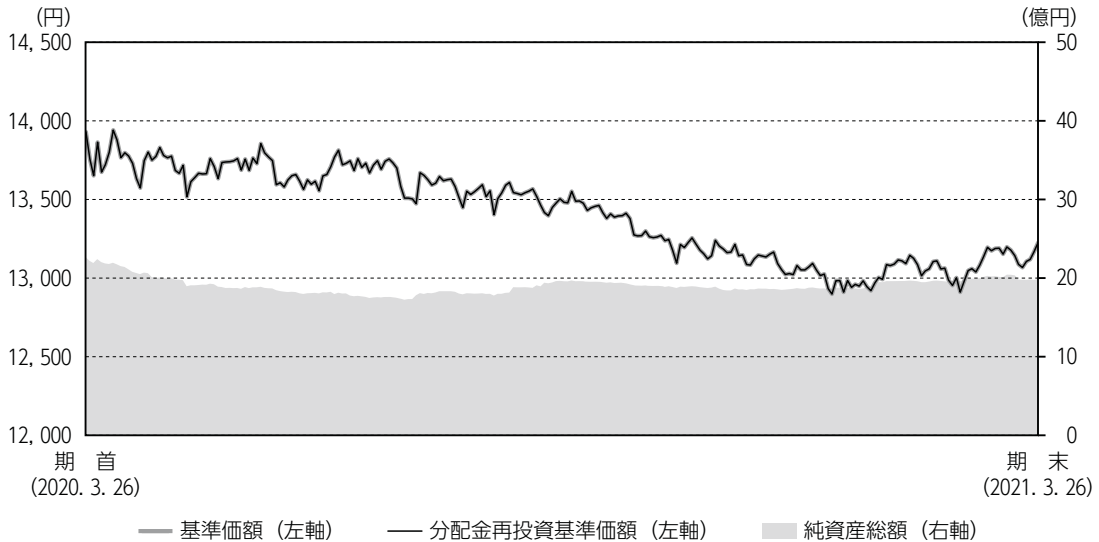
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：13,930円

期末：13,224円（分配金0円）

騰落率：△5.1%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

米国国債に投資した結果、金利が上昇（債券価格は下落）したことや米ドルが下落（円高）したため、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

米国国債ファンド 為替ヘッジなし (年1回決算型)

年 月 日	基 準 価 額		F T S E 米 国 債 イ ン デ ッ ク ス (円換算)		公 社 組 比	債 入 率	債 券 先 物 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2020年3月26日	13,930	—	14,261	—	96.8	—	
3月末	13,864	△ 0.5	14,175	△ 0.6	96.8	—	
4月末	13,666	△ 1.9	13,991	△ 1.9	96.8	—	
5月末	13,685	△ 1.8	13,981	△ 2.0	97.0	—	
6月末	13,770	△ 1.1	14,090	△ 1.2	96.7	—	
7月末	13,473	△ 3.3	13,817	△ 3.1	96.7	—	
8月末	13,404	△ 3.8	13,730	△ 3.7	98.1	—	
9月末	13,551	△ 2.7	13,878	△ 2.7	97.8	—	
10月末	13,261	△ 4.8	13,571	△ 4.8	99.0	—	
11月末	13,165	△ 5.5	13,511	△ 5.3	99.0	—	
12月末	13,050	△ 6.3	13,412	△ 5.9	98.3	—	
2021年1月末	13,079	△ 6.1	13,444	△ 5.7	97.9	—	
2月末	12,910	△ 7.3	13,293	△ 6.8	98.8	—	
(期末) 2021年3月26日	13,224	△ 5.1	13,660	△ 4.2	98.4	—	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020. 3. 27 ~ 2021. 3. 26)

■ 米国債券市況

米国の金利は上昇しました。

米国債券市況は、当作成期首より、新型コロナウイルスの感染拡大による信用不安の広がりから現金化ニーズが高まったことで、金利は上昇しました。しかしその後は、F R B (米国連邦準備制度理事会)をはじめとして、世界的に金融緩和策が強化されたことで、金利は低下(債券価格は上昇)しました。2020年8月は、感染拡大懸念が後退したほか、良好な経済指標や国債の発行増加の影響もあって、金利は上昇しました。10月には、米国大統領および連邦議会選挙を控えて、バイデン候補が大統領に当選して民主党が上下両院を制した場合の拡張的な財政政策を懸念する動きから、金利はさらに上昇しました。2021年に入ると、ジョージア州での上院決選投票で民主党が2議席を確保し、大統領府および連邦議会上下両院すべてを民主党が制することとなりました。それを受けて、市場での追加経済対策への期待が高まり、金利は上昇しました。また、F R B高官から量的緩和の縮小時期に関する発言が出たことも、今後の金融緩和政策の後退が市場で意識され、金利の上昇要因となりました。

■ 為替相場

米ドルは対円で下落しました。

当作成期首より、新型コロナウイルス感染拡大への対応として、F R B (米国連邦準備制度理事会)をはじめとする各国・地域の金融当局が大規模な金融緩和策や流動性供給策を発表したことで市場は一定の落ち着きを見せ、リスク回避姿勢の後退から米ドル円は下落しました。2020年4月以降も、緩和的な金融環境を背景に米ドル需要は徐々に後退し、米国の実質金利が低下したことなども米ドルの下落要因となりました。7月には、感染第2波への警戒に加えて、米中関係の悪化や追加経済対策を巡る不透明感などから、米ドルはじりじりと下落する展開となりました。2021年に入ると、米国において民主党が大統領府・連邦議会上下両院を制したことから、市場のリスク選好姿勢が高まり、米ドルは上昇(円安)しました。また、F R B高官からの量的緩和政策の縮小時期を巡る発言が出たことも、米国の金利上昇とともに米ドル買いにつながり、米ドルの上昇要因となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れます。

■米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

ポートフォリオについて

（2020. 3. 27 ~ 2021. 3. 26）

■当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れました。

■米国国債マザーファンド

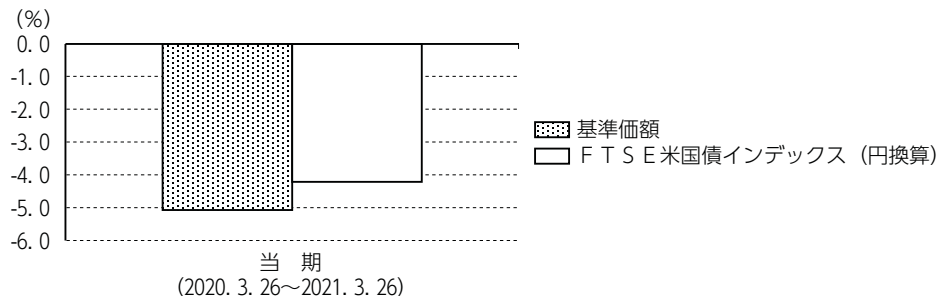
米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	当 期	
	2020年3月27日 ～2021年3月26日	
当期分配金 (税込み) (円)		—
対基準価額比率 (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		3,223

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れます。

■米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態では高位に維持します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 3. 27~2021. 3. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	50円	0.374%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,402円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0.165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(22)	(0.165)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.020	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	53	0.394	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

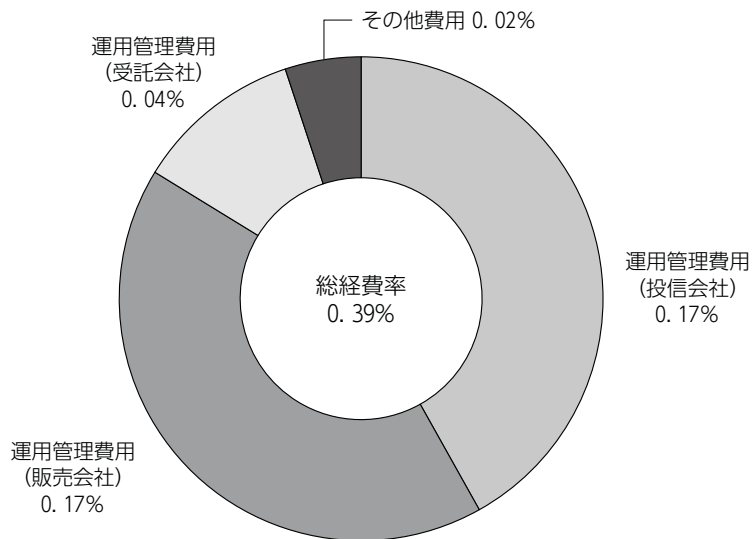
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.39%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年3月27日から2021年3月26日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
米回国債 マザーファンド	467,013	659,000	573,484	822,400

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	評 価 額	□ 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
米回国債マザーファンド	1,520,991	1,414,520	1,980,045	1,980,045

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年3月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
米回国債マザーファンド	1,980,045	98.9
コール・ローン等、その他	21,529	1.1
投資信託財産総額	2,001,574	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.31円です。

(注3) 米回国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(11,906,699千円)の投資信託財産総額(11,964,576千円)に対する比率は、99.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年3月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,001,574,827円
コール・ローン等	6,829,092
米回国債マザーファンド(評価額)	1,980,045,735
未収入金	14,700,000
(B) 負債	15,619,724
未払解約金	12,022,235
未払信託報酬	3,519,065
その他未払費用	78,424
(C) 純資産総額(A-B)	1,985,955,103
元本	1,501,805,504
次期繰越損益金	484,149,599
(D) 受益権総口数	1,501,805,504口
1万口当り基準価額(C/D)	13,224円

* 期首における元本額は1,627,659,111円、当作成期間中における追加設定元本額は677,137,408円、同解約元本額は802,991,015円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,224円です。

■損益の状況

当期 自2020年3月27日 至2021年3月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,586円
受取利息	2,101
支払利息	△ 8,687
(B) 有価証券売買損益	△ 66,460,304
売買益	21,200,627
売買損	△ 87,660,931
(C) 信託報酬等	△ 7,280,379
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 73,747,269
(E) 前期繰越損益金	154,081,312
(F) 追加信託差損益金	403,815,556
(配当等相当額)	(284,044,344)
(売買損益相当額)	(119,771,212)
(G) 合計(D+E+F)	484,149,599
次期繰越損益金(G)	484,149,599
追加信託差損益金	403,815,556
(配当等相当額)	(284,044,344)
(売買損益相当額)	(119,771,212)
分配準備積立金	154,085,795
繰越損益金	△ 73,751,752

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	330,074,873
(d) 分配準備積立金	154,085,795
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	484,160,668
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	484,160,668
(h) 受益権総口数	1,501,805,504□

フレックスヘッジ (年1回決算型)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE米国債インデックス (円換算)		公社債 組比率	債券先 物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
4期末(2017年3月27日)	11,870	0	△ 6.3	12,124	△ 3.4	98.3	—	268
5期末(2018年3月26日)	11,155	0	△ 6.0	11,522	△ 5.0	97.7	—	235
6期末(2019年3月26日)	12,145	0	8.9	12,648	9.8	97.4	—	200
7期末(2020年3月26日)	13,214	0	8.8	14,261	12.7	97.2	—	191
8期末(2021年3月26日)	12,663	0	△ 4.2	13,660	△ 4.2	98.5	—	187

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE米国債インデックス(円換算)は、FTSE米国債インデックス(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE米国債インデックス(米ドルベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

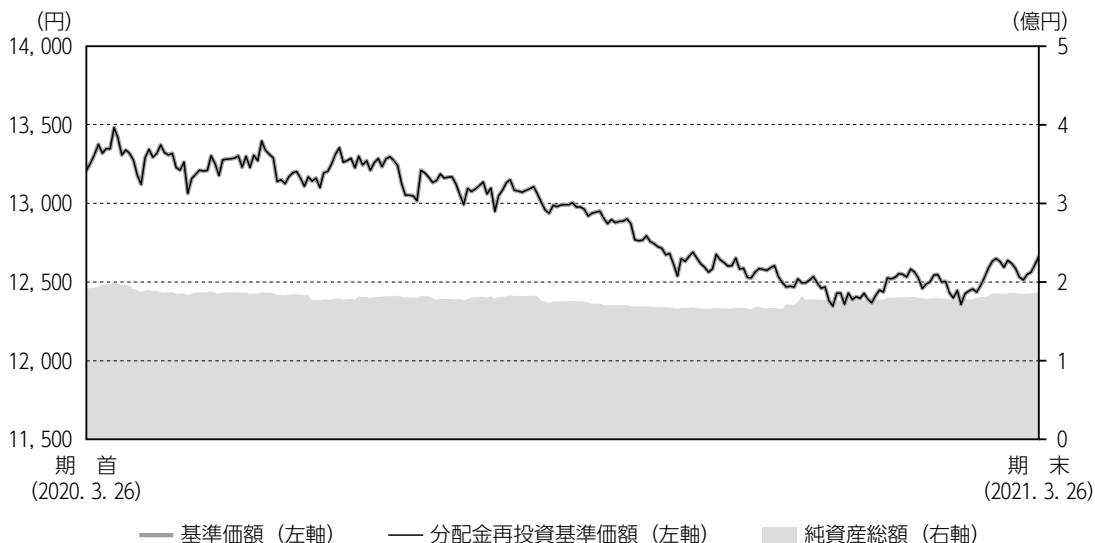
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：13,214円

期末：12,663円（分配金0円）

騰落率：△4.2%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

米国国債に投資した結果、金利が上昇（債券価格は下落）したことなどから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

米国国債ファンド フレックスヘッジ (年1回決算型)

年 月 日	基 準 価 額		F T S E 米 国 債 イ ン デ ッ ク ス (円換算)			公 社 組 比	債 入 率	債 券 先 物 率 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率				
(期首) 2020年3月26日	円 13,214	% —	14,261	% —		% 97.2	% —	
3月末	13,376	1.2	14,175	△	0.6	95.7	—	
4月末	13,212	△ 0.0	13,991	△	1.9	98.2	—	
5月末	13,229	0.1	13,981	△	2.0	98.6	—	
6月末	13,312	0.7	14,090	△	1.2	98.3	—	
7月末	13,017	△ 1.5	13,817	△	3.1	98.3	—	
8月末	12,950	△ 2.0	13,730	△	3.7	99.4	—	
9月末	13,005	△ 1.6	13,878	△	2.7	97.1	—	
10月末	12,724	△ 3.7	13,571	△	4.8	99.7	—	
11月末	12,604	△ 4.6	13,511	△	5.3	99.1	—	
12月末	12,493	△ 5.5	13,412	△	5.9	98.3	—	
2021年1月末	12,520	△ 5.3	13,444	△	5.7	98.0	—	
2月末	12,358	△ 6.5	13,293	△	6.8	98.8	—	
(期末) 2021年3月26日	12,663	△ 4.2	13,660	△	4.2	98.5	—	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020. 3. 27 ~ 2021. 3. 26)

■ 米国債券市況

米国の金利は上昇しました。

米国債券市況は、当作成期首より、新型コロナウイルスの感染拡大による信用不安の広がりから現金化ニーズが高まったことで、金利は上昇しました。しかしその後は、F R B (米国連邦準備制度理事会)をはじめとして、世界的に金融緩和策が強化されたことで、金利は低下(債券価格は上昇)しました。2020年8月は、感染拡大懸念が後退したほか、良好な経済指標や国債の発行増加の影響もあって、金利は上昇しました。10月には、米国大統領および連邦議会選挙を控えて、バイデン候補が大統領に当選して民主党が上下両院を制した場合の拡張的な財政政策を懸念する動きから、金利はさらに上昇しました。2021年に入ると、ジョージア州での上院決選投票で民主党が2議席を確保し、大統領府および連邦議会上下両院すべてを民主党が制することとなりました。それを受けて、市場での追加経済対策への期待が高まり、金利は上昇しました。また、F R B高官からの量的緩和の縮小時期に関する発言が出たことも、今後の金融緩和政策の後退が市場で意識され、金利の上昇要因となりました。

■ 為替相場

米ドルは対円で下落しました。

当作成期首より、新型コロナウイルス感染拡大への対応として、F R B (米国連邦準備制度理事会)をはじめとする各国・地域の金融当局が大規模な金融緩和策や流動性供給策を発表したことで市場は一定の落ち着きを見せ、リスク回避姿勢の後退から米ドル円は下落しました。2020年4月以降も、緩和的な金融環境を背景に米ドル需要は徐々に後退し、米国の実質金利が低下したことなども米ドルの下落要因となりました。7月には、感染第2波への警戒に加えて、米中関係の悪化や追加経済対策を巡る不透明感などから、米ドルはじりじりと下落する展開となりました。2021年に入ると、米国において民主党が大統領府・連邦議会上下両院を制したことから、市場のリスク選好姿勢が高まり、米ドルは上昇(円安)しました。また、F R B高官からの量的緩和政策の縮小時期を巡る発言が出たことも、米国の金利上昇とともに米ドル買いにつながり、米ドルの上昇要因となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れます。また、当社が独自に開発した指数に基づいて、金融市場の緊迫度が高まると判断される場合に為替ヘッジ（フレックスヘッジ）を行います。

■米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

ポートフォリオについて

(2020. 3. 27 ~ 2021. 3. 26)

■当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れました。また、当社が独自に開発した指数に基づいて、金融市場の緊迫度が高まると判断される場合に為替ヘッジ（フレックスヘッジ）を行いました。

■米国国債マザーファンド

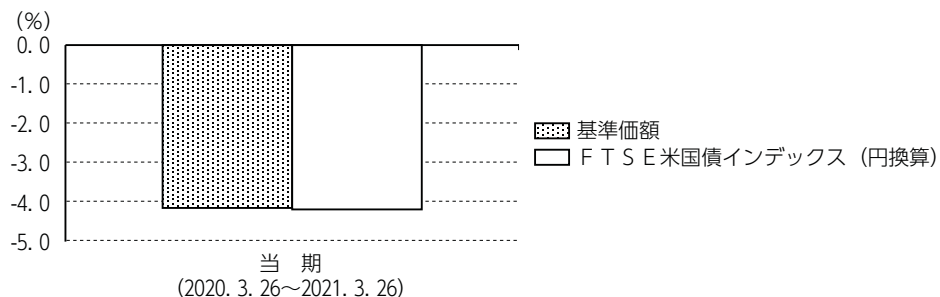
米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	当 期	
	2020年3月27日 ～2021年3月26日	
当期分配金 (税込み) (円)	—	
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	2,832	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れます。また、当社が独自に開発した指数に基づいて、金融市場の緊迫度が高まると判断される場合に為替ヘッジ（フレックスヘッジ）を行います。

■米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 3. 27~2021. 3. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	60円	0.462%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,899円です。
(投 信 会 社)	(33)	(0.253)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(21)	(0.165)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.023	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.003)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	63	0.485	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

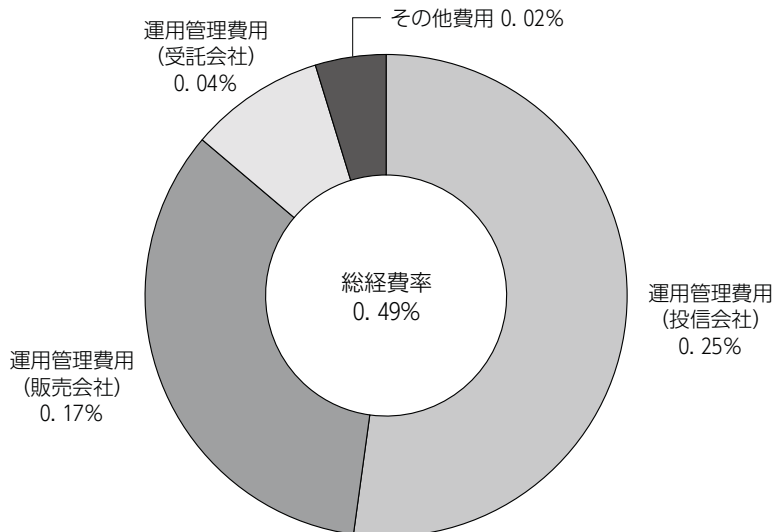
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.49%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

米国国債ファンド フレックスヘッジ (年1回決算型)

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年3月27日から2021年3月26日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
米国国債マザーファンド	41,908	59,190	37,544	53,520

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	評 価 額	□ 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
米国国債マザーファンド	129,084	186,800	133,447	186,800

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年3月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
米国国債マザーファンド	186,800	99.3
コール・ローン等、その他	1,360	0.7
投資信託財産総額	188,160	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の中値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.31円です。

(注3) 米国国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(11,906,699千円)の投資信託財産総額(11,964,576千円)に対する比率は、99.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年3月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	188,160,389円
コール・ローン等	635,955
米国国債マザーファンド(評価額)	186,800,061
未収入金	724,373
(B) 負債	1,058,358
未払金	655,640
未払解約金	325
未払信託報酬	395,354
その他未払費用	7,039
(C) 純資産総額(A-B)	187,102,031
元本	147,757,515
次期繰越損益金	39,344,516
(D) 受益権総口数	147,757,515口
1万口当り基準価額(C/D)	12,663円

* 期首における元本額は144,940,848円、当作成期間中における追加設定元本額は41,636,244円、同解約元本額は38,819,577円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,663円です。

■損益の状況

当期 自2020年3月27日 至2021年3月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 137円
受取利息	14
支払利息	△ 151
(B) 有価証券売買損益	△ 5,694,087
売買益	6,438,726
売買損	△ 12,132,813
(C) 信託報酬等	△ 848,205
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 6,542,429
(E) 前期繰越損益金	11,836,355
(F) 追加信託差損益金	34,050,590
(配当等相当額)	(30,021,137)
(売買損益相当額)	(4,029,453)
(G) 合計(D+E+F)	39,344,516
次期繰越損益金(G)	39,344,516
追加信託差損益金	34,050,590
(配当等相当額)	(30,021,137)
(売買損益相当額)	(4,029,453)
分配準備積立金	11,836,709
繰越損益金	△ 6,542,783

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	30,021,137
(d) 分配準備積立金	11,836,709
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	41,857,846
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	41,857,846
(h) 受益権総口数	147,757,515口

米国国債マザーファンド

運用報告書 第8期 (決算日 2021年3月26日)

(作成対象期間 2020年3月27日～2021年3月26日)

米国国債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国国債
株式組入制限	純資産総額の10%以下

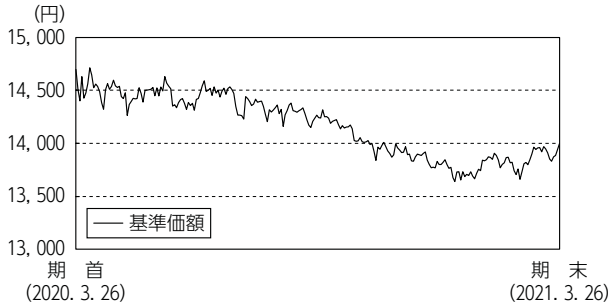
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		FTSE米国債 インデックス (円換算)		公 社 債 組 入 率	債 券 先 物 率 比
	円	%	(参考指数)	%		
(期 首) 2020年3月26日	14,698	—	14,261	—	98.1	—
3月末	14,630	△ 0.5	14,175	△ 0.6	98.2	—
4月末	14,423	△ 1.9	13,991	△ 1.9	98.4	—
5月末	14,448	△ 1.7	13,981	△ 2.0	98.7	—
6月末	14,544	△ 1.0	14,090	△ 1.2	98.4	—
7月末	14,229	△ 3.2	13,817	△ 3.1	98.4	—
8月末	14,160	△ 3.7	13,730	△ 3.7	99.7	—
9月末	14,317	△ 2.6	13,878	△ 2.7	98.3	—
10月末	14,014	△ 4.7	13,571	△ 4.8	99.5	—
11月末	13,916	△ 5.3	13,511	△ 5.3	99.3	—
12月末	13,799	△ 6.1	13,412	△ 5.9	98.5	—
2021年1月末	13,835	△ 5.9	13,444	△ 5.7	98.1	—
2月末	13,660	△ 7.1	13,293	△ 6.8	98.9	—
(期 末) 2021年3月26日	13,998	△ 4.8	13,660	△ 4.2	98.7	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) FTSE米国債インデックス(円換算)は、FTSE米国債インデックス(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE米国債インデックス(米ドルベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。
- (注6) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：14,698円 期末：13,998円 騰落率：△4.8%

【基準価額の主な変動要因】

米国国債に投資した結果、金利が上昇(債券価格は下落)したこと

や米ドルが下落(円高)したため、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ 米国債券市況

米国の金利は上昇しました。

米国債券市況は、当作成期首より、新型コロナウイルスの感染拡大による信用不安の広がりから現金化ニーズが高まったことで、金利は上昇しました。しかしその後は、FRB(米国連邦準備制度理事会)をはじめとして、世界的に金融緩和策が強化されたことで、金利は低下(債券価格は上昇)しました。2020年8月は、感染拡大懸念が後退したほか、良好な経済指標や国債の発行増加の影響もあって、金利は上昇しました。10月には、米国大統領および連邦議会選挙を控えて、バイデン候補が大統領に当選して民主党が上下両院を制した場合の拡張的な財政政策を懸念する動きから、金利はさらに上昇しました。2021年に入ると、ジョージア州での上院決選投票で民主党が2議席を確保し、大統領府および連邦議会上下両院すべてを民主党が制することとなりました。それを受けて、市場での追加経済対策への期待が高まり、金利は上昇しました。また、FRB高官から量的緩和の縮小時期に関する発言が出たことも、今後の金融緩和策の後退が市場で意識され、金利の上昇要因となりました。

○ 為替相場

米ドルは対円で下落しました。

当作成期首より、新型コロナウイルス感染拡大への対応として、FRB(米国連邦準備制度理事会)をはじめとする各国・地域の金融当局が大規模な金融緩和策や流動性供給策を発表したことで市場は一定の落ち着いた動きを見せ、リスク回避姿勢の後退から米ドル円は下落しました。2020年4月以降も、緩和的な金融環境を背景に米ドル需要は徐々に後退し、米国の実質金利が低下したことなども米ドルの下落要因となりました。7月には、感染第2波への警戒に加えて、米中関係の悪化や追加経済対策を巡る不透明感などから、米ドルはじりじりと下落する展開となりました。2021年に入ると、米国において民主党が大統領府・連邦議会上下両院を制したことから、市場のリスク選好姿勢が高まり、米ドルは上昇(円安)しました。また、FRB高官からの量的緩和策の縮小時期を巡る発言が出たことも、米国の金利上昇とともに米ドル買いにつながり、米ドルの上昇要因となりました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れることをめざします。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態では高位に維持します。

◆ ポートフォリオについて

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態では高位に維持しました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

米国国債マザーファンド

《今後の運用方針》

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れることをめざします。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態では高位に維持します。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	2 (2)
(その他)	(0)
合 計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2020年3月27日から2021年3月26日まで)

当 期		期 付	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄		銘 柄	
	千円		千円
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 4.5% 2036/2/15	803,944	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 6.125% 2029/8/15	421,656
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.5% 2030/2/15	660,036	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 5.25% 2028/11/15	307,925
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.5% 2024/5/15	263,641	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.5% 2024/5/15	294,237
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.625% 2029/2/15	222,281	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.625% 2026/5/15	249,573
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.25% 2027/2/15	212,107	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.625% 2022/8/15	245,185
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2022/2/15	208,810	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.375% 2029/5/15	242,217
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2023/2/15	187,108	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 3.125% 2021/5/15	227,338
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 0.625% 2030/5/15	159,975	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.375% 2027/5/15	174,650
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.625% 2026/5/15	119,873	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.625% 2029/8/15	173,355
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.75% 2028/2/15	101,771	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.125% 2021/8/15	161,735

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2020年3月27日から2021年3月26日まで)

		買 付 額	売 付 額
外 国		千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
	アメリカ	31,761	42,842
	国債証券	()	(8,148)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 108,959	千アメリカ・ドル 107,891	千円 11,793,567	% 98.7	% —	% 65.8	% 19.7	% 13.2

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.1250	千アメリカ・ドル 2,679	千アメリカ・ドル 2,700	千円 295,231	2021/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	4,413	4,489	490,710	2022/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.7500	854	870	95,126	2022/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.6250	1,840	1,879	205,410	2022/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	4,290	4,440	485,423	2023/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.7500	2,605	2,693	294,405	2023/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.5000	875	923	100,966	2023/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500	3,327	3,564	389,640	2024/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.5000	834	890	97,353	2024/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	6.8750	1,042	1,323	144,636	2025/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	6.0000	269	336	36,780	2026/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	5.5000	600	777	85,030	2028/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	5.3750	5,281	7,138	780,255	2031/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	4.5000	5,400	7,229	790,270	2036/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.3750	1,784	1,903	208,064	2024/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	4,165	4,402	481,240	2025/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.1250	1,091	1,159	126,719	2025/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	340	359	39,345	2025/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.6250	3,860	4,014	438,780	2026/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.5000	3,300	3,399	371,598	2026/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.2500	3,550	3,797	415,089	2027/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.3750	870	937	102,431	2027/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.2500	3,490	3,729	407,658	2027/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500	2,290	2,520	275,507	2028/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.8750	1,730	1,918	209,684	2028/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.8750	1,750	1,941	212,273	2028/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.6250	2,310	2,522	275,761	2029/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.6250	1,060	1,074	117,469	2029/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.5000	6,110	6,099	666,735	2030/02/15
	United States Treasury Strip Coupon	国債証券	—	8,930	7,275	795,318	2032/02/15
	United States Treasury Strip Coupon	国債証券	—	9,130	7,242	791,623	2033/02/15
	United States Treasury Strip Coupon	国債証券	—	9,330	7,183	785,253	2034/02/15
	United States Treasury Strip Coupon	国債証券	—	9,560	7,151	781,767	2035/02/15
合 計	銘柄数 金 額	33銘柄		108,959	107,891	11,793,567	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

米国国債マザーファンド

■投資信託財産の構成

2021年3月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	11,793,567	98.6
コール・ローン等、その他	171,009	1.4
投資信託財産総額	11,964,576	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.31円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(11,906,699千円)の投資信託財産総額(11,964,576千円)に対する比率は、99.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年3月26日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	11,964,576,395円
コール・ローン等	62,672,889
公社債(評価額)	11,793,567,139
未収入金	81,137,185
未取利息	26,445,874
前払費用	753,308
(B)負債	14,700,000
未払解約金	14,700,000
(C)純資産総額(A-B)	11,949,876,395
元本	8,537,075,931
次期繰越損益金	3,412,800,464
(D)受益権総口数	8,537,075,931口
1万口当り基準価額(C/D)	13,998円

* 期首における元本額は10,209,458,378円、当作成期間中における追加設定元本額は1,133,548,733円、同解約元本額は2,805,931,180円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、米国国債ファンド 為替ヘッジあり(年1回決算型)2,829,839,239円、米国国債ファンド 為替ヘッジなし(年1回決算型)1,414,520,457円、米国国債ファンド フレックスヘッジ(年1回決算型)133,447,679円、米国国債ファンド 為替ヘッジなし(毎月決算型)4,060,738,462円、米国国債ファンド 為替ヘッジあり(毎月決算型)98,530,094円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,998円です。

■損益の状況

当期 自2020年3月27日 至2021年3月26日

項 目	当 期
(A)配当等収益	311,756,445円
受取利息	311,788,242
支払利息	△ 31,797
(B)有価証券売買損益	△ 953,923,228
売買益	31,249,263
売買損	△ 985,172,491
(C)その他費用	△ 1,493,100
(D)当期損益金(A+B+C)	△ 643,659,883
(E)前期繰越損益金	4,796,422,326
(F)解約差損益金	△ 1,202,916,246
(G)追加信託差損益金	462,954,267
(H)合計(D+E+F+G)	3,412,800,464
次期繰越損益金(H)	3,412,800,464

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。